

【被服衛生学セミナー】

令和4年度 第40回被服衛生学セミナー報告

— Society5.0に向けた被服衛生学の取り組み —

佐藤真理子

文化学園大学服装学部

1. はじめに

2022年8月22日(月)・23日(火)、第40回被服衛生学セミナーがオンラインにて開催されました。AIやIoTの浸透・活用が進む昨今、コロナ禍に伴う社会変容も伴い、健康視点からの衣服研究が変化の途にある中で、節目である第40回の記念セミナーは、「Society5.0に向けた被服衛生学の取り組み」をテーマとして開催されました。先端技術の活用により、衣服に関する社会的課題を解決し、健康で快適な衣生活を支援するため、被服衛生学の立場からどのようなことができるか、考えることを目的としました。

2. セミナー概要

1日目は一般公開講演3件、特別企画の記念シンポジウム、2日目は研究発表3件、企業からの講演3件を行いました。前回(第39回セミナー)に引き続きオンライン開催のため、見学会や懇親会の開催は叶いませんでしたが、講演者・参加者共に、オンライン形式での学術セミナーに慣れた方が多く、スムーズな進行が行われました。

2日間に渡り開催された本セミナーの参加者は、正会員39名、学生4名、非会員37名の計80名でした。第40回の節目ということもあり、非常に多くの方々にご参加いただくことができました。

3. セミナー内容

1) 講演

第1日目は、以下3件の一般公開講演が行われました。いずれも第一線でご活躍の先生方による、刺激かつ有意義なお話を伺い、活発な質疑応答がなされました。

一般公開講演1：「被服学×工学で生み出されたウェアラブルな情報処理」才脇直樹氏(奈良

女子大学研究院工学系教授)

一般公開講演2：「現象的に触覚を捉える」田中由浩氏(名古屋工業大学大学院工学研究科教授)

一般公開講演3：「ウェアラブルセンサーで「着る・脱ぐ」を探る」清水順市氏(東京家政大学健康科学部教授)



写真1 ご講演の先生方の様子

また、第40回の節目である本セミナーの特別企画として、これまで諸先輩方が築きあげられてきた被服衛生学部会の歴史を振り返るという趣旨のもと、下記シンポジウムが催されました。被服衛生学の源流にはじまり、被服衛生学分野における研究の変遷や部会立ち上げ時の先生方のご様子等、貴重なお話を諸先輩方から伺いました。

記念シンポジウム：

「被服衛生学の歩みを振り返る」

田村照子氏(文化学園大学名誉教授)、栃原裕氏(九州大学名誉教授)、平田耕造氏(神戸女子大学名誉教授)、平林由果氏(金城学院大学教授)、佐藤希代子氏(倉敷市立短期大学准教授)

※田口秀子氏（秋田大学名誉教授）は資料ご提供によりご参加

2 日目は、若手研究発表 3 件ならびに企業からの繊維製品に纏わる IoT 機器を用いたデータ収集技術の応用に関する講演 3 件が行われました。

研究発表 1：「枕の素材の違いが睡眠に及ぼす影響」鈴木春佳氏（和洋女子大学）、水野一枝氏（和洋女子大学）

研究発表 2：「妊娠後期女性の腹部表面積の変化」田中あゆみ氏（和洋女子大学）、丸田直美氏（共立女子大学）

研究発表 3：「繊維製品の触感と皮膚振動に関する研究」伊豆南緒美氏（文化学園大学）、佐藤真理子氏（文化学園大学）、田中由浩氏（名古屋工業大学）

講演 1：「西陣織からウェアラブル IoT への変革～機能性繊維とバイタルデータを活用した製品開発と取組みについて～」三寺歩氏（ミツフジ株式会社 代表取締役社長）

講演 2：「日常生活での人々の心と体を見える化する最先端無意識連続計測生体センサの開発事例とパーソナルデータ活用社会への展望」南重信氏（株式会社ミルウス 代表取締役）

講演 3：「ヘルスケア IoT と睡眠マネジメント」野々村琢人氏（西川株式会社 日本睡眠科学研究所 所長）

4. おわりに

参加者から「時代に沿ったテーマである」、「今後の指針となった」等の声があり、高い満足度を得、高評価をいただきました。また本セミナーを通して、科学技術の重要性もさることながら、被服衛生学分野として人間に視座を置いた研究姿勢を忘れてはならないことが再認識できたとの声もいただきました。

ご多忙の中ご講演をご快諾いただきました講師の先生方、セミナー運営にご協力いただきました実行委員の先生方に心より感謝申し上げます。また、本セミナーにご参加いただきました皆様に深謝申し上げます。お陰様で盛会裏に終了することができました。誠にありがとうございました。

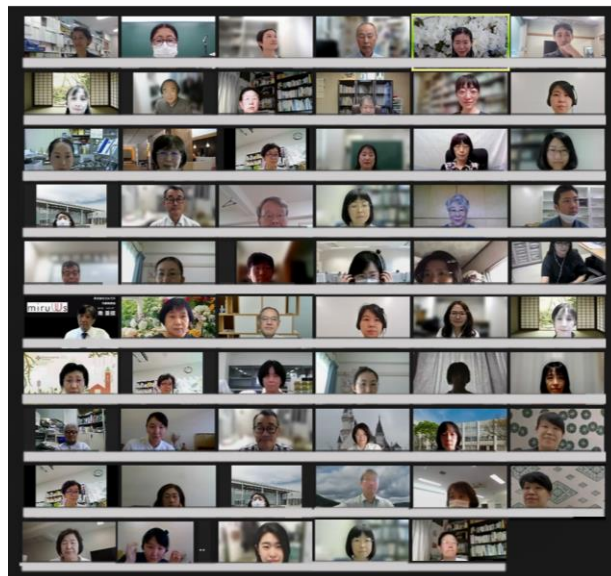


写真 2 オンラインでの記念撮影

第 40 回被服衛生学セミナー実行委員会 顧問

田村 照子（文化学園大学名誉教授）
斎藤 秀子（山梨県立大学）
小柴 朋子（元文化学園大学）
内田 幸子（高崎健康福祉大学）

実行委員長

佐藤 真理子（文化学園大学）

実行委員

潮田 ひとみ（東京家政大学）
加藤 三貴（神奈川県産業技術センター）
薩本 弥生（横浜国立大学）
田邊 識子（文化学園大学）
傳法谷 郁乃（神奈川大学）
成田 千恵（日本女子大学）
西原 直枝（聖心女子大学）
野上 遊夏（東京家政大学）
前田 亜紀子（共立女子大学）
松井 有子（文化学園大学）
丸田 直美（共立女子大学）
水野 一枝（和洋女子大学）
山田 巧（東京都立産業技術研究センター）

<連絡先>

〒151-8523 東京都渋谷区代々木 3-22-1
文化学園大学 服装学部 機能デザイン学研究室
佐藤 真理子
TEL/FAX: 03-3299-2336
Email: mari-sato@bunka.ac.jp